



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月1日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 4528 URL <https://www.ono.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相良 暁
 問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員コーポレートコミュニケーション統括部長（氏名） 谷 幸雄（TEL）（06）6263-5670
 四半期報告書提出予定日 2021年11月5日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	174,077	15.7	58,171	11.0	59,231	10.4	46,334	16.2	46,290	16.2	52,252	△2.9
2021年3月期第2四半期	150,474	1.0	52,401	25.1	53,674	24.7	39,888	21.2	39,849	21.4	53,797	61.3
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2022年3月期第2四半期	92.74		92.73									
2021年3月期第2四半期	79.84		79.83									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	772,900	679,698	674,048	87.2
2021年3月期	746,842	641,157	635,547	85.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	22.50	—	27.50	50.00
2022年3月期	—	28.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	345,000	11.5	103,000	4.7	105,000	4.1	81,600	8.1	81,500	8.1	163.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年3月期2Q	528,341,400株	2021年3月期	528,341,400株
2022年3月期2Q	29,179,954株	2021年3月期	29,199,416株
2022年3月期2Q	499,153,142株	2021年3月期2Q	499,132,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料7ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当第2四半期の経営成績の概況	2
(2) 当第2四半期の財政状態の概況	6
(3) 当第2四半期のキャッシュ・フローの概況	6
(4) 今後の見通し	7
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当第2四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	150,474	174,077	23,603	15.7%
営業利益	52,401	58,171	5,770	11.0%
税引前四半期利益	53,674	59,231	5,557	10.4%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	39,849	46,290	6,441	16.2%

[売上収益]

売上収益は、前年同期比236億円（15.7%）増加の1,741億円となりました。

- ・抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、競合他社製品との競争が激化する一方、非小細胞肺癌一次治療や食道がん二次治療における使用が拡大したことなどにより、前年同期比70億円（14.3%）増加の561億円となりました。
- ・その他の主要新製品では、糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は156億円（前年同期比49.3%増）、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は127億円（同1.7%減）、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は112億円（同3.3%増）、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ静注透析用」は45億円（同15.6%増）、多発性骨髄腫治療剤「カイプロリス点滴静注用」は42億円（同18.6%増）となりました。
- ・長期収載品は、後発品使用促進策の影響を受け、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は24億円（前年同期比16.8%減）、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は16億円（同61.7%減）となりました。
- ・ロイヤルティ・その他は、前年同期比109億円（24.8%）増加の549億円となりました。

[営業利益]

営業利益は、前年同期比58億円（11.0%）増加の582億円となりました。

- ・売上原価は、製品商品の売上が増加したことなどにより、前年同期比38億円（9.1%）増加の456億円となりました。
- ・研究開発費は、被験者登録を含めた開発活動が徐々に回復し開発に係る費用が増加するとともに、研究に係る費用が増加したことなどにより、前年同期比68億円（26.5%）増加の326億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、新型コロナウイルス感染症の影響によりMRの医療機関訪問自粛など活動制限はあるものの、積極的なWeb講演会実施などにより営業活動経費が増加しました。また、新製品の上市および効能追加に係る費用やフォシーガ錠の売上拡大に伴うコプロフィーが増加したことにより、前年同期比78億円（26.3%）増加の377億円となりました。

[四半期利益]（親会社所有者帰属）

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の増加に伴い、前年同期比64億円（16.2%）増加の463億円となりました。

(研究開発活動)

当社グループは、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。

現在、開発パイプラインには、オプジーボに加えて、抗体医薬品を含む抗がん剤の新薬候補化合物をはじめ、自己免疫疾患や神経系疾患の治療薬候補などがあり、開発を進めています。なかでも、がん治療の領域はアンメット・メディカル・ニーズが高いことから、重要な戦略分野と位置づけています。

創薬研究において、当社は、医療ニーズの高いがんや免疫、神経、スペシャリティ領域を重点領域に定め、それぞれの領域における創薬競争力の強化を目的に、ヒト疾患バイオロジーを掘り下げ、医療ニーズを適切に捉える取り組みを推進します。また、オープンイノベーションを推進することで、独創的な創薬シーズを獲得し、インフォマティクス技術やヒト疾患モデル作製技術、化合物作製技術などの最新技術を利用して、医療インパクトのある画期的新薬の創製をめざします。

重点領域において7つの新薬候補化合物が臨床ステージに移行しており、今後さらに創薬のスピードと成功確率を向上させるために、基礎と臨床の橋渡しを担うトランスレーショナル研究も強化します。研究早期段階からヒトゲノム情報やヒトiPS細胞などの研究ツールとバイオインフォマティクス技術を有機的に活用することで、標的分子の疾患との関連性を深く理解し新薬候補化合物のヒトにおける有効性をより正確に予測するとともに、臨床試験において疾患に対する有効性を評価できる生理学的指標（バイオマーカー）を見出すことをめざします。また、ライセンス活動による有望な新薬候補化合物の導入にも努め、研究開発活動の一層の強化に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の主な成果（第2四半期連結会計期間末以後のものを含む）は、以下のとおりです。

[開発品の主な進捗状況]

<がん領域>

「オプジーボ/ニボルマブ」（他剤との併用療法を含む）

胃がん

- ・本年6月、フルオロピリミジン系薬剤およびプラチナ系薬剤を含む化学療法との併用療法について、韓国で「進行または転移性胃がん、胃食道接合部がんおよび食道腺がん」を効能・効果とした承認を取得しました。
- ・本年10月、フルオロピリミジン系薬剤およびプラチナ系薬剤を含む化学療法との併用療法について、台湾で「HER2過剰発現を伴わない進行又は転移性胃がん、胃食道接合部がんおよび食道腺がん」を効能・効果とした承認を取得しました。

食道がん

- ・本年9月、「ヤーボイ」との併用療法および化学療法との併用療法について、国内で「根治切除不能な進行・再発の食道がん」を効能・効果とした承認申請を行いました。

悪性胸膜中皮腫

- ・本年5月、「ヤーボイ」との併用療法について、国内で「切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫」を効能・効果とした承認を取得しました。
- ・本年6月、「ヤーボイ」との併用療法について、韓国で「切除不能な悪性胸膜中皮腫」を効能・効果とした承認を取得しました。
- ・本年9月、「ヤーボイ」との併用療法について、台湾で「切除不能な悪性胸膜中皮腫」を効能・効果とした承認を取得しました。

腎細胞がん

- ・本年8月、「カボメティクス錠」との併用療法について、国内で「根治切除不能又は転移性の腎細胞がん」を効能・効果とした承認を取得しました。

膵がん

- ・本年4月、「ON0-7913」との併用療法において、国内で「膵がん」を対象としたフェーズI試験を開始しました。

結腸・直腸がん

- ・本年4月、「ONO-7913」との併用療法において、国内で「結腸・直腸がん」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

非小細胞肺癌

- ・本年6月、ベバシズマブと化学療法との併用療法について、国内で「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌」を効能・効果とした添付文書の改訂を行いました。

原発不明がん

- ・本年4月、国内で「原発不明がん」を効能・効果とした承認申請を行いました。

ホジキンリンパ腫

- ・本年9月、国内で「再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫」に対する小児の用法及び用量の追加に係る承認を取得しました。

固形がん

- ・本年8月、「ONO-7119」との併用療法において、国内で「固形がん」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。
- ・本年4月、「固形がん（子宮頸がん、子宮体がん及び軟部肉腫）」を対象とした開発を実施していましたが、戦略上の理由により国内での開発を中止しました。

中枢神経系原発リンパ腫/精巣原発リンパ腫

- ・本年4月、「中枢神経系原発リンパ腫/精巣原発リンパ腫」を対象とした開発を実施していましたが、戦略上の理由により国内での開発を中止しました。

頭頸部がん

- ・本年7月、「ヤーボイ」との併用療法について、「頭頸部がん」を対象とした開発を実施していましたが、主要評価項目を達成できなかったため、開発を中止しました。

「ベレキシブル錠/チラブルチニブ塩酸塩」

- ・本年7月、「ONO-4059」について、米国で「中枢神経系原発悪性リンパ腫」を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

「ビラフトビカプセル/エンコラフェニブ」「メクトビ錠/ビニメチニブ」

- ・本年8月、「ビラフトビカプセル/エンコラフェニブ」について、セツキシマブとの併用療法で、韓国で「治療歴を有するBRAF^{V600E}変異を有する成人の進行・再発の結腸・直腸がん」の効能・効果とした承認を取得しました。
- ・本年8月、「ビラフトビカプセル」「メクトビ錠」について、韓国で「悪性黒色腫」を対象としたフェーズⅢ試験を実施していましたが、戦略上の理由により開発を中止しました。
- ・本年8月、「メクトビ錠」について、韓国で「結腸・直腸がん」を対象としたフェーズⅢ試験を実施していましたが、戦略上の理由により開発を中止しました。

「ONO-7475」

- ・本年4月、「ONO-7475」について、国内で「EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

「ONO-7913」

- ・本年4月、「オプジーボ」と「ONO-7913」との併用療法において、国内で「膵がん」、「結腸・直腸がん」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。
- ・本年4月、「ONO-7913」について、国内で「骨髄異形成症候群」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

「ONO-7119」

- ・本年8月、「オプジーボ」と「ONO-7119」との併用療法において、国内で「固形がん」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

「ONO-4578」

- ・本年7月、「ONO-4578」について、国内で「ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

「ONO-4483」

- ・本年7月、「ONO-4483」について、「固形がん」を対象とした開発を実施していましたが、戦略上の理由により国内での開発を中止しました。

「ONO-4685」

- ・本年10月、「ONO-4685」について、米国で「T細胞リンパ腫」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

<がん領域以外>

「フォシーガ錠/ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物」

- ・本年8月、「フォシーガ錠」について、国内で2型糖尿病の有無に関わらず、「慢性腎臓病（ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く）」を効能・効果とした承認を取得しました。

「フオイパン錠/カモスタットメシル酸塩」

- ・本年6月、「フオイパン錠」について、国内で「新型コロナウイルス感染症」を対象としたフェーズⅢ試験を実施していましたが、有効性が認められなかったことから、開発を中止しました。

「ONO-2910」

- ・本年4月、「ONO-2910」について、国内で「糖尿病性多発神経障害」を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

「ONO-4685」

- ・本年9月、「ONO-4685」について、欧州で「自己免疫疾患」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

[創薬／研究提携活動の状況]

- ・本年8月、英国Healx社と、同社独自の人工知能技術を活用した、アンメットメディカルニーズを満たす革新的な治療薬の創製を目的とした研究提携契約を締結しました。
- ・本年8月、ミラバイオロジクス株式会社と同社独自の環状ペプチド探索法とタンパク質工学を融合させた新技術（LassoGraft Technology®）を活用した次世代バイオ医薬品の創製を目的とした創薬提携契約を締結しました。

(2) 当第2四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2021年3月期 連結会計年度末	2022年3月期 第2四半期 連結会計期間末	対前連結会計年度末 増減額
資産合計	746,842	772,900	26,058
親会社の所有者に帰属する持分	635,547	674,048	38,501
親会社所有者帰属持分比率	85.1%	87.2%	
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,273.28円	1,350.36円	

資産合計は、前期末に比べ261億円増加の7,729億円となりました。

流動資産は、現金及び現金同等物やその他の金融資産の増加などから285億円増加の2,761億円となりました。

非流動資産は、その他の金融資産の減少などから24億円減少の4,968億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務や未払法人所得税の減少などから125億円減少の932億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金の増加などから385億円増加の6,740億円となりました。

(3) 当第2四半期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額
現金及び現金同等物の期首残高	69,005	61,045	
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,314	40,369	9,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,033	△5,385	△1,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,488	△14,968	△2,480
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	14,793	20,016	
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	3	56	
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,800	81,117	

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は、200億円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人所得税等の支払額181億円などがあった一方で、税引前四半期利益592億円などがあった結果、404億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形資産の取得による支出56億円などがあった結果、54億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額137億円などがあった結果、150億円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

通期の業績につきましては、2021年5月13日に発表いたしました業績予想から変更はございません。新型コロナウイルス感染症による事業および業績への影響につきましては、引き続き一定の活動制限が継続されることを想定しておりますが、営業利益に与える影響は引き続き軽微と見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示により比較可能性を向上させ、株主、投資家や取引先など様々なステークホルダーの皆さまの利便性をはかることを目的として、2014年3月期から国際会計基準（IFRS）を適用しております。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	61,045	81,117
売上債権及びその他の債権	84,269	89,596
有価証券	2,978	640
その他の金融資産	40,952	47,629
棚卸資産	39,151	38,594
その他の流動資産	19,246	18,538
流動資産合計	247,642	276,115
非流動資産		
有形固定資産	113,866	112,050
無形資産	70,322	71,682
投資有価証券	146,796	151,043
持分法で会計処理されている投資	112	111
その他の金融資産	131,888	127,119
繰延税金資産	33,619	31,289
退職給付に係る資産	7	431
その他の非流動資産	2,590	3,060
非流動資産合計	499,200	496,785
資産合計	746,842	772,900

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	39,163	31,556
リース負債	2,023	2,004
その他の金融負債	616	889
未払法人所得税	19,047	14,060
引当金	20,721	20,721
その他の流動負債	12,163	11,986
流動負債合計	93,733	81,217
非流動負債		
リース負債	7,030	6,954
その他の金融負債	0	0
退職給付に係る負債	3,056	3,192
繰延税金負債	1,052	1,037
その他の非流動負債	813	802
非流動負債合計	11,952	11,986
負債合計	105,685	93,202
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,231	17,221
自己株式	△44,705	△44,676
その他の資本の構成要素	62,299	66,475
利益剰余金	583,363	617,669
親会社の所有者に帰属する持分	635,547	674,048
非支配持分	5,610	5,650
資本合計	641,157	679,698
負債及び資本合計	746,842	772,900

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	150,474	174,077
売上原価	△41,760	△45,567
売上総利益	108,714	128,510
販売費及び一般管理費	△29,817	△37,656
研究開発費	△25,733	△32,552
その他の収益	365	669
その他の費用	△1,127	△800
営業利益	52,401	58,171
金融収益	1,403	1,422
金融費用	△137	△361
持分法による投資損益	6	△2
税引前四半期利益	53,674	59,231
法人所得税	△13,786	△12,897
四半期利益	39,888	46,334
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	39,849	46,290
非支配持分	38	43
四半期利益	39,888	46,334
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	79.84	92.74
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	79.83	92.73

要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	39,888	46,334
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	13,417	5,524
確定給付制度の再測定	515	324
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	△0	1
純損益に振り替えられることのない 項目合計	13,932	5,849
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△23	70
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	△23	70
その他の包括利益合計	13,909	5,918
四半期包括利益合計	53,797	52,252
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	53,754	52,208
非支配持分	43	44
四半期包括利益合計	53,797	52,252

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2020年4月1日残高	17,358	17,229	△44,737	48,030	524,605	562,484	5,538	568,022	
四半期利益					39,849	39,849	38	39,888	
その他の包括利益				13,904		13,904	5	13,909	
四半期包括利益合計	—	—	—	13,904	39,849	53,754	43	53,797	
自己株式の取得			△2			△2		△2	
自己株式の処分		△38	38			0		0	
剰余金の配当					△11,230	△11,230	△6	△11,236	
株式報酬取引		18				18		18	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△1,280	1,280	—		—	
所有者との取引額等合計	—	△20	35	△1,280	△9,950	△11,215	△6	△11,221	
2020年9月30日残高	17,358	17,209	△44,702	60,654	554,504	605,023	5,575	610,598	

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2021年4月1日残高	17,358	17,231	△44,705	62,299	583,363	635,547	5,610	641,157	
四半期利益					46,290	46,290	43	46,334	
その他の包括利益				5,918		5,918	0	5,918	
四半期包括利益合計	—	—	—	5,918	46,290	52,208	44	52,252	
自己株式の取得			△1			△1		△1	
自己株式の処分		△31	31			0		0	
剰余金の配当					△13,726	△13,726	△4	△13,730	
株式報酬取引		21				21		21	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△1,742	1,742	—		—	
所有者との取引額等合計	—	△10	29	△1,742	△11,984	△13,707	△4	△13,711	
2021年9月30日残高	17,358	17,221	△44,676	66,475	617,669	674,048	5,650	679,698	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	53,674	59,231
減価償却費及び償却費	7,764	8,686
減損損失	—	124
受取利息及び受取配当金	△1,317	△1,177
支払利息	36	35
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,215	577
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△3,747	△5,375
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△76	△6,523
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	211	115
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	65
その他	△2,478	1,587
小計	49,852	57,345
利息の受取額	34	25
配当金の受取額	1,285	1,157
利息の支払額	△36	△35
法人所得税等の支払額	△19,822	△18,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,314	40,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,307	△3,045
無形資産の取得による支出	△2,998	△5,587
投資の取得による支出	△450	△382
投資の売却及び償還による収入	2,915	6,407
定期預金の預入による支出	△30,335	△6,847
定期預金の払戻による収入	30,200	5,200
その他	△59	△1,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,033	△5,385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△11,221	△13,707
非支配持分への配当金の支払額	△6	△4
リース負債の返済による支出	△1,260	△1,256
自己株式の取得による支出	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,488	△14,968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,793	20,016
現金及び現金同等物の期首残高	69,005	61,045
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	3	56
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,800	81,117

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。